



東北支部企画 中澤 暦・永淵 修・齊藤勝美 3人トーク会 「南極観測の体験とグローバル環境の視点」

日時: 2022年11月3日 16:00~18:00

会場: 仙台市青葉区五橋1-1-58 ダイアパレス仙台中央 911号室



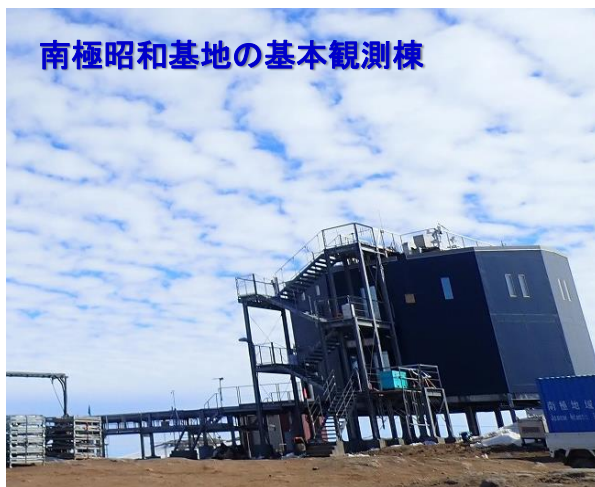
九重連山での樹氷採取

中澤 暦(富山県立大学 環境・社会基盤工学科講師, 博士(環境科学)) 第63次南極地域観測隊(夏隊)隊員に選出され, 2021年11月~2022年3月まで南極に派遣された。南極では陸上生物モニタリングの隊員として, 陸上生物とそれを取り巻く環境因子の観測を実施。大学では, 水銀, マイクロプラスチックをキーワードに, 大気中や樹木の年輪, コケ, 土壌, 樹氷などを対象に実態調査を行い, 大気環境中の動態と環境汚染の歴史に着目した研究を進めている。

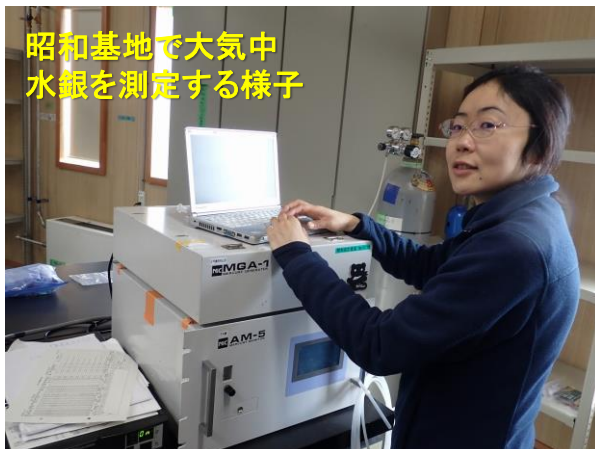


海洋地球研究船「みらい」での水銀調査

永淵 修(滋賀県立大学環境科学部環境生態学教授を定年退官後, 福岡工業大学総合研究機構環境科学研究客員教授, 研究員を歴任, 博士(工学)) 山岳及び島嶼部における大気粒子の物理化学的成分, オゾン, 水銀などの観測から越境大気汚染物質の動態を調査研究。樹木の年輪コア, 湖沼の堆積物コアの化学成分結果から環境汚染の歴史を検討する他, 降水中水銀の動態とその沈着量の評価など調査研究内容は多岐にわたる。最近では, 大気中マイクロプラスチックの実態調査に取り組んでいる。



南極昭和基地の基本観測棟

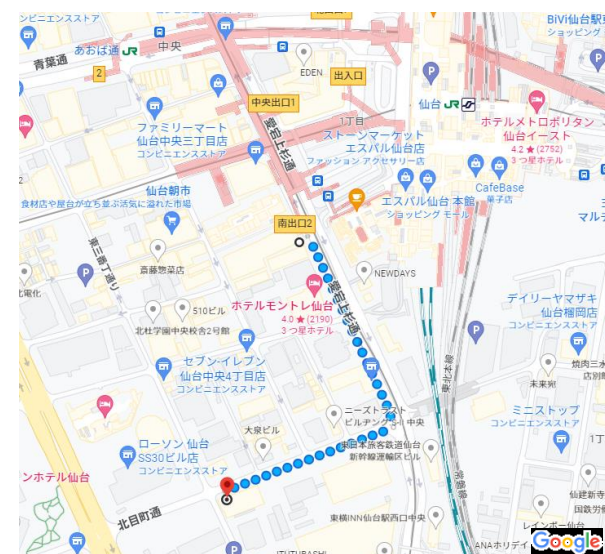


昭和基地で大気中水銀を測定する様子



航空機からの排出物の測定法及び規制値等の委員会(SAE E-31)の会場(Cardiff University)にて

齊藤勝美(合同会社イサラ研究所代表, 博士(医学・環境科学), 中部工業大学1974年度工業化学科卒) 大気粒子の物理化学的特徴や大気粒子への自動車・航空機排出粒子の影響度合など大気環境に関する調査・研究を中心に活動。



仙台駅から3人トーク会場へのルート

3人トーク会への問合せ, 参加申込は中部大学同窓会事務局(<https://chubu-alumni.jp>)の「お問い合わせ」までお願いします。先着35名まで。Webexによる3人トーク会の発信を予定。(50名)